

生物多様性自治体ネットワーク Topics (R7.11.5 配信)

加盟自治体数 202

生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体の生物多様性に係るホットトピックを定期的に取りまとめ、自治体間で事例の共有を図るとともに、対外的な発信をおこなうものです。

★12 月配信の記事募集中(〆切 11 月 25 日(火))会員等に共有いただける記事を募集中です!

生物多様性自治体ネットワークについて https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/nlgb/

●ラムサール条約湿地都市として認証【名古屋市】

名古屋市は、2025 年 7 月にビクトリアフォールズ(ジンバブエ共和国)で開催された「ラムサール条約第 15 回締約国会議(COP15)」に参加し、「ラムサール条約湿地都市認証制度」に基づく湿地都市として認証されました。本認証は、湿地の保全・再生、管理への地域関係者の参加、普及啓発、環境教育等の推進に関する国際基準を満たす自治体に与えられるものです。

かつて名古屋市は、藤前干潟を埋立処分場にする計画を中止し、ごみ非常事態宣言を発表しました。その後、市民・事業者の皆様とともに徹底的なごみ分別やリサイクルに取り組み、大幅なごみ減量を実現して藤前干潟を保全しました。そうした保全の歴史や、藤前干潟を活用した環境教育事業などの湿地保全・活用の取り組みが評価されたものと考えています。

COP15 のサイドイベントにおいては、そうした藤前干潟の保全の歴史や現在名古屋市が実施している藤前干潟を活用した環境教育等の取り組みについて世界に発信しました。

また、帯同した NPO 法人藤前干潟を守る会の推薦を受けたユース(若者世代)3 名は、藤前干潟の魅力や日頃の活動について世界に発信するとともに、各国の参加者やユースと交流し意見交換を行うなど、国際的な視点での学びと発信を実現しました。

名古屋市は今後も、環境行政の原点である藤前干潟を中心とした湿地保全・活用の取り組みを推進するとともに、次世代を担うユースを育成し、積極的に支援していきます。



名古屋市の代表団



藤前干潟ユースの発表

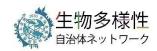
<ウェブサイト>

https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000067130.html

<問い合わせ先>

名古屋市環境局環境企画課 担当:後藤、樫原

TEL: 052-223-1066 Mail: a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



●北九州市ネイチャーポジティブ経営シンポジウムについて【福岡県北九州市】

北九州市では、生物多様性地域戦略の推進に向けて、産官学民が連携して取組を進める体制を構築するため、北九州ネイチャーポジティブネットワークを創設します。ネットワークの創設に合わせ、11月14日 (金)に北九州市ネイチャーポジティブ経営シンポジウムを開催します。シンポジウムに参加をご希望される場合は、添付チラシのQRコードからお申込みください。

また、北九州ネイチャーポジティブネットワークについては、下記 URL からご確認ください。



<ウェブサイト>

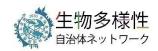
https://nature-kitakyushu.com/

<問い合わせ先>

北九州市ネイチャーポジティブ推進課 担当:岡本、椿

TEL: 093-582-2239

Mail: kan-naturepositive@city.kitakyushu.lg.jp



●事務局からのお知らせ

<現在依頼中の案件>

【12月1日期限】生物多様性自治体ネットワーク第12期代表・幹事の立候補について(依頼)

<その他依頼事項>

令和7年2月12日に開催された本ネットワークの総会において、令和8年度総会(R9.2頃) を名古屋市で実地開催することが決定しています。各自治体におかれましては、本市にお越しい ただくための旅費等の確保をお願いいたします。詳細は総会資料をご確認ください。

<J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画における本ネットワークの指標の進捗状況>

指標	基準日 [※] の数値 ※行動計画承認日(R5.9.12)	現在の数値 (R7.6.5 時点)	基準日からの増減
生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体数	193 自治体	202 自治体	+9 自治体
加盟自治体における 30by30 アライアンス加入数	33 自治体	59 自治体	+26 自治体